

# 学びの広場

地域で学び、活動する  
皆さんを応援します  
北秋田市教育委員会

- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ



## 第4回『ふるさと未来・再考！フォーラム』

～公民館による「おらほの地域応援し隊2014」～

第4回『ふるさと未来・再考！フォーラム』が、11月29日に北秋田市交流センターで行われました。

全国的に少子高齢化が進む中、人口移動が収束しない場合、北秋田市における2040年の20-39歳の女性は、わずか800人と減少の一途をたどります。

このような状況を認識し、打開策を考えることを目的に、この日は文部科学省の出口寿久さんによる基調講演や、鶴形小学校、合川中学校、秋田北鷹高校、共催の秋田大学による事例発表、小畑勇二郎顕彰会会長の浅利司さんをはじめ、4人によるパネル

トークが行われ、参加者は「新しい公共」の必要性や「ふるさと教育」の大切さを確認していました。



▲事例発表をする合川中学校の生徒たち

## やさしい心と笑顔で人生たのしく

～北秋田市高齢者大学合同講座～

北秋田市高齢者大学合同講座が、12月5日に文化会館で行われ、市内4地区の高齢者大学の受講生が一堂に会し、心の健康について考えました。

この日は、大仙市の佐藤貞勝さんが「時の間で！～やさしさにふれあうとき～」と題して講演し、「私たちは限られた時間を旅する旅人。楽しい、うれしい、悲しいなど、色々なことがあるが、楽しく過ごしても怒って過ごしても同じ一日。一人一人が優しい心で笑顔で過ごすことができれば」と語りました。

また、話の合間にはギターを弾いて「里の秋」や

「津軽平野」などを受講生とともに歌い、会場には大きな歌声と笑顔が広がりました。



▲約210人の受講生が一堂に会した合同講座

## 津軽スコップ三味線世界大会に出場

～中央公民館「スコップ三味線を楽しむ講座」～

第8回津軽スコップ三味線世界大会が、12月7日に青森県五所川原市で開催され、中央公民館講座から「北秋田シャミガールズ」の7人が初出場しました。

スコップ三味線は、バチに見立てた栓抜きなどでスコップを三味線のようにたたいて演奏するもので、大会には全国16都道府県から31個人、10団体が出場し、技術やパフォーマンスを競いました。

この日は、阿仁くまくま園のクマをモチーフにしたバルーンアート（大川龍也さん作成）や北秋田市の半纏を着た応援団もかけつけました。残念ながら

入賞はできませんでしたが、500人を超す観客の前で見事なパフォーマンスを披露しました。



▲軽快に演奏する北秋田シャミガールズの皆さん

## 冬の笑楽校



- 【開催日】 1月10日(土)
- 【場所】 中央公民館【定員】 30人
- 【参加費】 高校生以下500円 一般700円
- 【申込締切】 1月6日(火)
- 【時間割】 朝の会 8時50分～9時
- 1時間目 国語 9時～10時  
「干支(えと)のおはなし」
- 2時間目 総合学習 10時10分～11時  
「マジックに挑戦！」
- 3時間目 家庭 11時10分～12時30分  
「調理実習」
- 4時間目 給食 12時30分～13時30分  
「3時間目で作った料理を食べよう」
- 理科 13時30分～15時  
「スペシャル理科実験」

### ○スクールバスを運行します

《行き》大阿仁公民館7時20分  
阿仁公民館7時40分→森吉公民館  
8時10分→合川公民館8時25分→  
中央公民館8時40分

《帰り》中央公民館15時20分発  
中央公民館15時20分発

### ☆高校生ボランティアの募集☆

子どもたちのサポートをしてくれる高校生ボランティアを募集しています。ご協力いただける方は、中央公民館までご連絡ください。

内容 お昼休み「絵本読み聞かせ」や理科実験での子どもたちのサポート  
時間 13時～15時30分  
問合せ 生涯学習課 ☎62・1130

## 合川公民館「ろばた講座」



【開催日】 1月22日(木) 13時30分  
【会場】 合川公民館  
【講師】 (合川農村環境改善センター) 五十嵐 経(おさむ)さん  
(大館市立真中公民館長)

### 放課後児童クラブの募集



放課後児童クラブは、保護者が仕事などで日中留守になる家庭に代わって、子どもたちに安全な生活の場と遊びの場を提供しています。

対象児童 保護者が就労等により、日中家庭にいないおむね10歳未満の児童(ただし6年生まで入会可能)  
申込み 2月28日(土)までに入会希望の児童クラブへお申込みください。  
※現在利用されている方も、改めて申し込みが必要です。

提出書類 ①児童クラブ入会申込書 ②児童票  
※提出書類は、各児童クラブ、各公民館に設置しています。



## ふるさとの文化財 82

### 北秋田市指定無形民俗文化財 (民俗芸能)

#### ○「笑内獅子踊り」

◇所在地 北秋田市阿仁笑内  
◇管理者 笑内獅子踊保存会

#### 〈内容〉

大名行列を模したものに獅子舞を組み合わせたもので、鎮守の神社を出発し、村の有力者の門前や中庭で踊ったと言われています。記録によれば、先払い6人を先頭に、東西人、高灯籠、アネ槍、三本槍、長ぼんぼり、五本槍、はさみ箱、駒、馬印、薙刀、廻ぼんぼり、押さえの槍、獅子、大太鼓、笛、岡太鼓(獅子舞用)の順に、およそ40人の行列であったと伝えられています。

また、江戸時代末には奴踊り、駒踊り、棒術も組み入れられていたと言われています。

#### 〈起源〉

先祖の慰霊と五穀豊穡を祈るため、室町時代に始まったとされていますが、ずっと続いてきたわけではなく、天保3年(1832年)の大飢饉以降に中断し、明治25年(1892年)頃に再興されました。



▲笑内獅子踊り

#### 〈伝承体制〉

再興されてからは、遠征公開するほど盛んであったと伝えられています。

後継者不足(特に笛の吹き手)により、休止して10年ほどになりましたが、用具類はしっかり保存されており、跡を継いでくれる方を求めているということです。

なお、笑内集落に近い萱草、戸島内集落にも、獅子舞、獅子踊りがありました。いずれも断絶しています。

◇開催日・場所 現在は8月13日に、お墓参りの途中に行列をする程度で行われています。

▽平成7年3月6日市指定文化財  
▽資料/北秋田市教育委員会作成  
資料、「秋田民俗芸能アーカイブス」(国際教養大学)、笑内自治会長(調査・聞き取り)  
▽紹介者/北秋田市文化財保護審議委員 照内捷二